

③飛来落下

仮置きした不安定な状態の サブ材が滑り落ち下敷きに

発生状況



天井クレーンを操作して、小組材の運搬作業中、他部材の上に仮置きした小組材が約1mの高さから滑り落ち、作業者の胸を直撃した

原因

- ✓ 不安定な場所に部材を仮置きした（傾斜6度）
- ✓ 部材が滑り落ちる危険性に気付いていなかった
- ✓ 整理整頓の指導が行き届いていなかった。部材の積み重ね方が個人まかせになっていた



防止対策

- ✓ 置き場の区画表示を明確にし、決められた場所と置き方を守る（例：線で表示）
- ✓ 玉掛け者への再教育を実施する
- ✓ 物の置き場所を確保し、不安定な積み重ねをしないよう指導する



滑り落ちる可能性のある部材等は
積み重ねない！



POINT!



DATA

発生年月日
2008.08.04

発生場所

組立工場

作業名・作業内容

部材運搬作業

死傷病名

大動脈損傷

職種

玉掛職

社/協

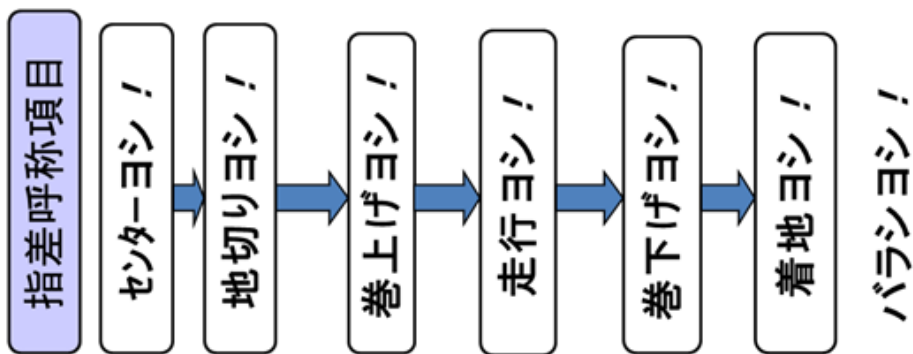
協力員

年齢

38才

経験年数

3年



指差呼称のタイミング	確認項目	次の行動
玉掛(ナ完了時) (クレーンワイヤー緊張時)	・重量、吊り具の確認 ・フックのセンター位置	地切り
地切り前	・自分の立つ位置 ・人払い	巻上げ
地切り後、巻上げ前	・荷の安定、動き ・吊り具の状態 ・巻上げに障害となる物の有無	移動開始
走行・横行の開始前	・移動に障害となる物の有無 ・移動通路の確保 ・人払い	走行・横行
巻下げ直前	・巻下げに障害となる物の有無 ・着地位置の状態 ・自分の身体の位置	着地
着地後、玉掛(ナバラシ)前	・吊り荷の安定性 ・着地位置の確認(直角・水平)	バラシ